

## 2011年度リハビリテーション学部国際作業療法実習 募集要項

2011年10月

1. 国際作業療法実習の目的
  - 1) シンガポールに滞在し、人々の生活に触れながら、人々の作業を理解し、地域で生活する人々を援助するために作業療法は何をするのか、できるのかを、学びながら経験する
  - 2) 人々が地域でどのように生活することを望んでいるか、理解する
  - 3) 医学モデル中心の病院より、人々に身近なところで、人々の生活と経験を理解し、よりよい生活と人生のために、援助するために、活躍する人たちの中で、新しい分野である地域に根ざした作業療法をシンガポールで学び、実際に経験する
2. 実習期間  
2012年3月5日〔月〕～3月23日〔金〕の3週間
3. 実習内容および実習施設（予定）  
原則として各施設において施設見学およびOTプログラム体験参加を行う
  - 1) Society for the Physically Disabled（身体障害者事業団）
  - 2) Ang Mo Kio Thye Hua Kwan Hospital（アンモキオ・タイフアカン病院）
  - 3) Handicaps Welfare Association（通所の機能訓練施設 NGO）
4. 費用  
約11万円（渡航費用、滞在費、食費、海外保険料）
  - \*上記は独立行政法人日本学生支援機構からの奨学金8万円を差し引いた金額です。
  - \*基本的にナンヤン理工学院宿泊施設に滞在します。数日間ナンヤン理工学院生宅でのホームステイも含まれる予定です。
  - \*渡航手配（航空券の予約・購入）は実習生が行います。滞在先は大学が手配し、実費を実習生が支払います。
  - \*上記には国内移動費、現地移動費、お小遣いは含まれていません。
5. 対象者および募集人員  
作業療法学専攻 2～3年次生 計2名 応募者の中から選考により決定
6. 応募方法  
願書に必要事項を記入し、11月11日〔金〕までに国際交流センターへ提出すること。（最終日の受付は17時まで）記入方法について質問があれば、国際交流センターへ問合せること。
7. 選考日  
日時：募集締め切り後決定
8. 選考方法  
小論文および面接により総合的に判断する
9. 選考結果  
11月末に通知する
10. その他  
実習予定者は、実習開始前の事前研修を必ず受けること。また、実習後は報告レポート（A4サイズ 2～3ページ）を提出する。